

平成30年度 公民科

教科	公民	科目	現代社会	単位数	2単位	年次	1年次
使用教科書	最新 現代社会 (実教出版)						
副教材等							

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

私たちが生きている社会には、様々な課題があります。「現代社会」では、社会の課題について、自分で考えていくことができるようになることをめざして、基礎的な力を身につけられるようにしていきます。

そのためには、まずは「なぜ」という疑問を持ちながら、学習に取り組んでいきましょう。また、私たちの生活と学習している内容との「つながり」も意識していきましょう。

2 学習の到達目標

- ・現代の社会についての基本的な知識が身についている。
- ・現代の社会の諸課題について、主体的・積極的、そして多面的に考え、表現できる。
- ・現代の社会についての情報を集めて、読み解き、説明する力が身についている。
- ・歴史・地理的事象とも関連付けながら、現代の社会について理解することができる。

3 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観 点 の 趣 旨	現代社会の基本的な課題に対する関心を高め、意欲的に課題を追求する。	現代社会の基本的な課題について、広い視野を持って、多面的・多角的に考え、文章などで表現する。	現代社会の基本的な課題について、新聞・インターネットなどのメディアや教科書を通して、情報を集める。	現代社会の基本的な課題について、理解し、知識を身につける。
評 価 方 法	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度 ・ワークシートの記述 ・課題・提出物の状況 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・ワークシートの論述箇所 ・提出物の内容 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・授業での資料活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとめりにごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
一学期	青年期と自己の形成	<ul style="list-style-type: none"> ・自分らしく生きる ・人間としてよく生きる ・日本人としての自覚 	○	○	○	○	a: 青年期に対する関心を高め、自己の生き方について考えようとしている。 b: 青年期や、幸福・正義・公正などについて、自分なりに考え、論理的に表現する。 c: 青年期に関する資料を収集し、活用している。 d: 青年期の意義や社会参加などについて理解し、その知識を身につけている。	授業態度 ワークシートの論述箇所 定期考査
	現代の民主政治と日本国憲法	<ul style="list-style-type: none"> ・現代国家と民主政治 ・日本国憲法の基本的性格 ・日本の政治機構と政治参加 	○	○	○	○	a: 現代の民主政治と政治参加に対する関心が高まっている。 b: 選挙に関する課題を見出し、有権者としての心構えや取るべき行動について考える。 c: 条文や判例を読み、理解するだけでなく、説明もできるようになる。 d: 基本的人権の保障、国民主権、平和主義、天皇の地位と役割、議会制民主主義と権力分立について理解し、その知識を身につけている。	授業態度 提出物の状況 提出物の内容 定期考査
二学期	現代の経済社会と国民生活	<ul style="list-style-type: none"> ・現代の経済社会 ・日本経済の特質と国民生活 	○	○	○	○	a: 現代の経済に関心を持って、積極的に授業に参加できている b: 消費者問題や労働者問題、社会保障の課題などを見出し、その対処法や解決策を考え、表現する。 c: 需要供給のグラフを読み取り、わかったことを説明できる。 d: 市場経済の仕組みや近現代の日本経済の歴史について理解し、その知識を身につける。	授業態度 ワークシートの記述 授業での資料活用 定期考査

	国際社会と人類の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・国際政治の動向 ・国際経済の動向と国際協力 	○	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> a: 国際社会の課題について、関心を持つ。 b: 円高・円安の概念を使って、国際社会の様々な事象によって円の価値がどのようになるのかを考え、表現できるようにする。 c: 比較生産費説を、表から読み取り、説明できるようにする。 d: 国際政治の動向や歴史を理解し、その知識を身につける。 	授業態度 提出物の状況 ワークシートの論述箇所 提出物の内容 授業での資料活用 定期考査
三学期	わたしたちの生きる社会 共に生きる社会をめざして	<ul style="list-style-type: none"> ・地球環境問題 ・資源・エネルギー問題 ・生命科学と情報技術の課題 ・共に生きる社会をめざして 	○	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> a: 現代社会の課題に関心を持って、授業に積極的に参加する。 b: 生命科学分野の課題について、2つ以上の異なる立場からも考えるようにする。 c: 現代社会で学習した知識を活用し、課題についてまとめる。 d: 現代社会の諸課題について理解し、その知識を身につける。 	授業態度 提出物の状況 ワークシートの論述箇所 提出物の内容 定期考査

※ 表中の観点について a: 関心・意欲・態度 b: 思考・判断・表現
 c: 資料活用の技能 d: 知識・理解

※ 年間指導計画（例）作成上の留意点

- ・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。